

第3章 子どもの読書活動推進のための具体的な取組

1 発達段階に応じた読書活動の推進

(1) 乳幼児期における取組

(家庭における読書活動の推進)

乳幼児期の子どもにとって、家庭は、生活の基本の場であり、子どもが本と初めて出会う場でもあります。

子どもの読書習慣は、日常生活を通じて形成されるものであり、子どもが読書を楽しみ、自ら読書に親しむことができるように、保護者が意識して読書を日常の生活の中に位置づけ、乳幼児期から継続して子どもの読書習慣を育てていくことが重要です。

そこで、乳幼児が、信頼できる身近な大人に読み聞かせをしてもらい、絵本の楽しさを味わうために、市町村における乳幼児健診等の機会を通して、本と出会う場づくりを支援します。また、子どもの発達段階に応じた本選びができるように、推薦図書リスト等の作成や情報提供に努めます。

(保育所・幼稚園等における読書活動の推進)

保育所・幼稚園等においては、絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わうことができる活動を積極的に行うことが必要です。

そこで、一人ひとりの子どもが絵本等に親しむ機会を充実するための手立てとして、推薦図書リスト「絵本おはなし・宝箱」等を活用し、計画的な読書活動の取組が行われるよう、啓発していきます。

また、保育者に対する園内研修等への支援を通して、保護者による絵本の読み聞かせの大切さを啓発するように努めていきます。

(オーテピア高知図書館による支援)

オーテピア高知図書館では、子どもたちが自分自身で図書や紙芝居を手にとってゆっくり楽しめる環境と、感性と知性、倫理性と社会性を育むことができるような図書、雑誌、紙芝居、新聞等を提供します。また、お話コーナーや親子コーナーなどにおいて、「読み聞かせ」や「お話し会」等を開催するなど、様々なサービスを提供します。

(主な具体的な取組) (※**重**: 重点的な取組)

①乳幼児健診等における本と出会う場づくりの普及・促進

子どもが身近な大人を通して本と出会うために、県内全市町村において、教育委員会、市町村立図書館等や子育て支援関係の様々な機関が連携・協力して、ブックスタート応援事業等を実施しています。今後も継続して実施されるよう、情報提供や活動の支援に努め、幼児期の読み聞かせ等から発達段階に応じた働きかけや子どもの興味・関心に応じた働きかけを行うとともに、保護者も一緒になって読書に親しむことを促進します。

・ブックスタート応援事業

【生涯学習課】

②子ども読み聞かせ運動(読育運動)の実施

子どもが成長・発達段階に応じた良い本と出会えるように、継続して推薦図書リストである「絵本おはなし・宝箱」と啓発用チラシを作成し、乳幼児健診時等に配付します。その際、市町村立図書館等や子育て支援関係の部局、読書ボランティア等の連携・協力により、読み聞かせや講話等を行い、家庭読書や図書館利用につながるよう働きかけます。

また、保育所・幼稚園等へも「絵本おはなし・宝箱」を配付し、保育者等が読み聞かせ等を行う時の選書の参考としたり、掲載している本が読み聞かせされたりするよう、活用を促します。

このように、乳幼児期から継続して読書活動(読み聞かせ)が行われるよう、子ども読み聞かせ運動(読育運動)を実施します。

重・子ども読み聞かせ運動(読育運動)

【生涯学習課】

③保育者への園内研修等の充実

保育者に対し、指導計画等に位置づけた指導ができるよう、読書活動の意義や重要性、発達段階に応じた図書の選定、親子読書への取組等について、また、保護者や公立図書館等の職員、読書ボランティア等との連携について、園内研修等の機会を捉え啓発していきます。

・園内研修支援事業

【幼保支援課】

④保育所・幼稚園等における読書活動調査の実施

保育所・幼稚園等における読書活動についての調査を実施し、その結果を踏まえ、読書活動のさらなる充実のための啓発に努めていきます。

【幼保支援課】

⑤子どもと本をつなぐイベントの実施

オーテピア高知図書館において、小さいころから子どもが本に親しみ、また、保護者も子どもの読書に関心を持つように、読み聞かせやストーリーテリングなどを定期的に行います。

【県立図書館】

⑥児童図書等の資料の充実

オーテピア高知図書館では、長く子どもに読み継がれる基本的な図書やおはなしばかりでなく、視野を広げ、好奇心を育む自然や科学の絵本、在住の外国人や英語学習・多文化理解のための図書・雑誌等を収集し、提供します。

【県立図書館】

(2) 学童期から青年中期における取組

(小学校・中学校・義務教育学校における読書活動の推進)

小学校・義務教育学校前期課程では、家庭や保育所・幼稚園等で育んだ読書に親しむ心の芽生えを、教育課程全体で計画的に伸ばし、主体的に読書ができる子どもに育成していくことが大切です。また、中学校・義務教育学校後期課程では、多感なこの時期に自分自身を見つめ、生き方を考え、豊かな心を育むとともに、学習への動機づけや学習内容を定着させたり発展させたりするうえで読書活動は重要であり、大きな役割を果たすものです。

小・中学校・義務教育学校では、既に読書活動への様々な取組が行われています。県は、市町村教育委員会と連携して、読書活動や学校図書館の充実に必要な情報を提供するなど、小・中学校等に対して更に支援を行っていきます。

また、教職員だけでなく読書ボランティア等、地域の人とのつながりを生かしながら、児童生徒の家庭における読書を推進します。

(高等学校における読書活動の推進)

高等学校では、生徒の豊かな人間性や社会性を育て、社会の担い手としての資質を身に付けられるように、読書活動を通して、生徒の個性を伸ばし、主体的に社会の中で生きていく力を育てます。

そのために、小・中・義務教育学校における教育の成果を受け継ぎ、読書活動の充実に向けた取組や環境整備を一層進め、生徒の自主的な読書活動の促進を図るとともに、生涯にわたって読書に親しむ習慣を育てます。

また、興味・関心のある本との出会いや、多感な時期の悩みへの支援が実現できるよう、生徒への情報提供を進めるとともに、専門的知識や幅広い視野を身に付けるために、キャリア教育に位置づけた読書活動を推進します。

(オーテピア高知図書館による支援)

オーテピア高知図書館では、市町村立図書館等と連携しながら、学校図書館に対し、貸出やレファレンスへの協力を行い、子どもたちの学びを支えます。また、学校図書館の充実に必要となる情報の提供も行います。

(主な具体的な取組)

①早ね早おき朝ごはん県民運動における読書活動の推進

児童生徒の生活習慣とともに読書習慣をチェックする「生活リズムチェックカード」を小学生(全学年)、中学生(希望校)に配付し、達成した子どもに認定証を発行する取組を継続して行い、読書活動が生活の中に定着していくように働きかけます。

・早ね早おき朝ごはん県民運動

【健康長寿政策課・生涯学習課】

②多様な読書の推進

文学的な読み物に留まらず、新聞や科学雑誌等を含めた、多様な種類の読み物に親しみ、学習にも活用できる、推薦図書リスト「きつとある キミの心に ひびく本」を新入学児童生徒に配付します。

【小中学校課】

③読書楽力検定の利用と活用の推進

多様な読書の実現に向けて、様々なジャンルの本に触れるきっかけをつくるために、児童生徒に配付する「きつとある キミの心に ひびく本」と関連づけた読書楽力検定問題を毎年作成します。作成にあたっては、民間団体や児童生徒のアイデアなどを取り入れることなどの工夫を加え、活用の促進を図ります。

重・読書楽力検定事業

【生涯学習課】

④学校図書館の組織的、計画的な活用の推進

各校の学校経営計画や教育計画に「読書活動の推進」に関する項目を取り入れ、読書活動の重要性について学校全体での共有化を推進するとともに、読書活動推進に向けた組織的な活動がより活性化されるよう取り組みます。

また、各教科・科目、特別活動及び総合的な学習の時間、キャリア教育等、学校の教育活動全体において、学校図書館を探究的な学習の場として積極的・計画的に利用・活用し、各担当者の一層の連携のもと多様な指導の展開が図られるよう、必要な支援を行います。

重・高等学校学校図書館教育推進事業

【高等学校課】

⑤生徒の自主的な読書活動の推進

朝の読書活動等の一斉読書活動を一層推進するとともに、学校図書館を活用した授業づくり等を通して、生徒の主体的、探究的な学習や読書活動につながるよう取組を推進します。

また、図書委員会活動やボランティア活動等の生徒の自主的な取組がより一層創意工夫したものとなるよう支援します。

・高等学校学校図書館教育推進事業

【高等学校課】

⑥学校図書館の情報発信の推進

図書館便りを発行したり、学校図書館協議会等の外部団体の協力を得たりするなど、読書活動に関する情報発信の充実に継続して取り組みます。

また、興味・関心や必要とする専門性に応じた資料の提供、多感な時期の悩みへの支援等、生徒の多様な要望に応えられるよう、学校図書館担当職員による情報提供を促進します。

・高等学校学校図書館教育推進事業

【高等学校課】

⑦図書資料の充実

オーテピア高知図書館では、長く子どもに読み継がれる基本的な図書の他に読み物だけでなく、視野を広げ、知識を深める社会や科学等の図書や資料を収集し、提供します。

【県立図書館】

⑧ティーンズ・サービスの実施

オーテピア高知図書館では、10代の若者(ティーンズ)の興味・関心に応える図書、学習内容を深めることのできる資料等を収集し、提供します。

【県立図書館】

⑨読書の楽しさを知るイベントの実施

オーテピア高知図書館では、ティーンズを対象に、ビブリオバトルやブックトーク等の読書の楽しさを知るイベントを行います。その際、ティーンズの参加を促すため、イベントの企画委員の募集等を工夫しながら行います。

【県立図書館】

⑩ブックリストの作成・提供

オーテピア高知図書館では、将来を考えるものや関心を広げるものから、学習に対応したもので、各種のブックリストを作成し、提供します。

【県立図書館】

(3) 特別な支援が必要な子どものための取組

(特別支援学校における読書活動の推進)

特別な支援を必要とする子どもが、本と出会い、読書活動の楽しさを通して自主的な読書活動ができるようにするためには、一人ひとりの状況に応じた対応を行い、習慣づけることが大切です。

県は、特別支援学校等に対して、特別な支援を必要とする子どもが、人との関わりを楽しみながら読書活動ができるよう読み聞かせやペープサート等の活動の充実を図ったり、読書週間や図書便り等を発行したりすることにより、図書室の活用を進めるための取組の充実に向け支援します。

また、子ども一人ひとりの障害の特性に応じた適切な支援を行うために障害の状態に配慮した図書の整備、補助具や視聴覚機器、パソコン、デージー図書等、学校図書館における図書環境の整備・充実に取り組みます。

(オーテピア高知図書館による支援)

オーテピア高知図書館は、障害のある人と情報を積極的につなぐため、多様な資料・サービス手段・コミュニケーション手段、ユニバーサルデザインの考えに沿った利用しやすい環境を整え、「だれにでも」「やさしく」利用できる図書館を目指します。また、オーテピア高知声と点字の図書館と連携して資料やサービスを提供します。

(主な具体的な取組)

①特別支援学校における読書活動の充実

特別な支援を必要とする子どもが本に親しむことのできる図書の整備、教職員やボランティア等による読み聞かせ、パネルシアター、ペープサート、エプロンシアター、読書発表等の活動を工夫し、一人ひとりの実態に応じた読書活動や読書指導を一層推進します。

また、すべての特別支援学校で読書週間の設定や児童生徒会活動による読書活動を促し、学校図書・視聴覚便りを定期的に発行し、情報交換を行うことで学校と家庭が連携して読書活動への関心を高めるように働きかけます。

・特別支援学校読書活動推進事業

【特別支援教育課】

②特別支援学校における障害に配慮した読書環境の整備・充実

特別な支援を必要とする子どものニーズを把握し、障害の特性に応じた図書の精選を行い、本の充実に努めるとともに、物流システムの利用や公立図書館の積極的な活用を促進します。また、学校図書館における書棚の高さの工夫、快適に利用するための場所や空間の確保、提示物の精選や配置の工夫、視聴覚機器や補助具等により自主的な読書活動ができるよう読書環境の整備・充実に取り組みます。

【特別支援教育課】

③多様な図書資料の充実

オーテピア高知図書館は、視覚・聴覚障害など文字情報や音声・映像情報の利用がそのままでは困難な方へのサービスとして、大活字本、LLブック、朗読CD、カセットブック、音声ガイド・字幕付きDVD、さわる絵本、手話付き絵本、布絵本等を積極的に収集し、提供します。

【県立図書館】

④貸出サービスの充実

オーテピア高知図書館は、来館が困難な子どもが資料を利用できるように、病院・社会福祉施設等への資料の団体貸出を行います。また、障害や病気によって図書館への来館が困難な子どもには、無償で自宅等に資料を届けます。

【県立図書館】

⑤上映会・体験会等の開催

オーテピア高知図書館において、字幕付き映画、手話付き映画、音声解説付き映画、マルチメディアデージー、音声付き電子書籍等の上映会・体験会を企画します。

【県立図書館】

⑥対面音訳サービスの実施

オーテピア高知図書館では、対面音訳室を3室整備し、複数のニーズに応えられるようにします。また、市町村立図書館等でも対面音訳サービスが実施できるように支援します。

【県立図書館】

⑦録音図書の提供(デージー等)

オーテピア高知図書館は、高知声と点字の図書館やサピエ図書館が提供する利用制限付き録音図書を、窓口で対象者に貸出できるようにします。

録音図書の周知のため、関連団体へのサンプルの貸出についても検討します。

【県立図書館】

⑧電子書籍の導入

オーテピア高知図書館は、読み上げ機能の活用や来館が困難な方への利便性を向上させるため、メリットやデメリットを見極めながら電子書籍を導入します。

【県立図書館】

⑨ボランティアや協力者の養成・スキルアップ講習会等の実施

オーテピア高知図書館は、高知声と点字の図書館と連携し、リクエストに応じて点訳や音訳、「テキスト・データ」化等の変換ができるようボランティアや協力者の養成、スキルアップ講習会等を実施します。

【県立図書館】

(4)子どもの読書活動の意義や大切さを伝える総合的な取組

子どもが本に親しみ、読書習慣を身に付けるためには、子どもの読書活動に関わる公立図書館、学校、民間団体等の関係機関の取組とともに、各機関が連携して、子どもの読書活動を総合的に推進することが重要です。

そのため、子どもの読書活動推進に向け、「子ども読書の日」や「志(こころざし)・とさ学びの日」等の機会に、県民の読書活動の機運を醸成することを目的に、読書活動の重要性の広報・啓発や、特色ある優れた実践を行っている学校、図書館、民間団体(個人)の取組を奨励し、活動の一層の充実を図ります。また、子どもの読書活動に関わる情報を家庭や地域に提供していきます。

(主な具体的な取組)

①市町村による子ども読書活動推進計画策定への支援

市町村における読書活動の取組の充実を図るため、子ども読書活動推進計画が未策定の市町村に対し、先進事例の紹介や助言等により、計画の策定を支援します。また、子ども読書活動推進計画の策定済み市町村に対しては、計画に基づく着実な推進、改定が実施されるよう支援します。

【生涯学習課】

②「子ども読書の日」(4月23日)等の啓発

「子ども読書の日」(4月23日)や「こどもの読書週間」(4月23日～5月12日)、「秋の読書週間」(10月27日～11月9日)、「志(こころざし)・とさ学びの日」(11月1日)に、読書の楽しさや意義、重要性について県民への啓発を実施します。また、公立図書館や学校等において、民間団体・読書ボランティア等と連携し、その趣旨に沿った行事や催しを実施するように働きかけます。

【生涯学習課】

③文部科学大臣表彰による優れた取組の奨励、普及、啓発

県内の特色ある優れた実践を行っている学校、図書館、民間団体及び個人を表彰する文部科学大臣表彰制度を活用し、関係者の取組の意欲をさらに高め、活動の一層の充実を図るとともに、取組内容を県民に紹介することにより、子どもの読書活動についての関心と理解を深め、読書の機運醸成を図ります。また、文部科学大臣表彰受賞報告会を行い、ホームページや各研修会、研究大会等で紹介します。

【小中学校課・高等学校課・特別支援教育課・生涯学習課】

2 地域や人とのつながりを深める読書活動の推進

子どもが自発的な読書習慣を身に付けるためには、子どもの読書活動に関わる人や地域とのつながりが重要です。公立図書館、学校、民間団体等の関係機関それぞれが工夫して取り組むとともに、各機関が連携を強め、子どもの読書活動を総合的に推進することが重要です。

(主な具体的な取組)

①読書活動を通じた異年齢交流の促進

小・中学生や高校生が保育所・幼稚園等で読み聞かせ等を行うなど異年齢交流や異校種間交流を推進し、この活動を通して、子どもたちが絵本や物語等の多様な本に触れたり、目的を持って本等を選び豊かに表現したりする機会をつくります。また、交流事例等をホームページ等で情報発信します。

【幼保支援課・小中学校課・高等学校課・生涯学習課】

②学校支援地域本部等の仕組みを活用した読書活動の推進

学校支援地域本部等における読み聞かせ活動に多くの地域住民や読書ボランティアに参画していただき、読書を通して地域の大人との交流を深めます。

・学校支援地域本部等事業

【生涯学習課】

③NPOと連携した読書環境の改善

NPO 法人等が他の民間団体等と連携し、公立図書館未設置の中山間地域等において「出張図書館」を開催し、地域の子どもと大人が本や読み聞かせを通じて触れ合い、交流を深め、身近な生活に図書館があることの良さを実感する機会を創出します。

重 ・出張図書館事業

【生涯学習課】

④地域の教育関連施設と連携した読書活動の推進

文学館や博物館、地域の教育関連施設等と連携し、本と関わるイベント等を実施することを通して、本と読書への興味や子どもと地域とのつながりを深めます。

【生涯学習課】

3 学校教育における読書活動の推進

(1) 学校図書館の機能の充実

学校図書館は、子どもが気軽に利用でき、自分にあった本を薦めてくれる人がいるなど、魅力ある場所であることが大切です。子どもにとって、豊かな心と感性を育む読書センターとしての機能と、学習に対する興味や関心呼び起こし、自主的・主体的な学びを支援する学習・情報センターとしての機能を充実させていきます。

(主な具体的な取組)

① 学校図書館図書標準達成校数の拡大

市町村に対して、学校図書館の図書館資料の計画的な整備(廃棄を含む)を働きかけ、児童生徒や教員等の要望に応えられる魅力ある蔵書整備が進められるよう支援します。

【小中学校課】

② データベース化の推進

事業主体となる市町村に働きかけ、学校図書館の図書館資料を管理することや児童生徒の貸出数の把握、学習・情報センターとしての機能強化のために、蔵書情報のデータベース化を図るとともにインターネットによる検索ができる環境整備を進めます。

【小中学校課】

③ レファレンスの協力

オーテピア高知図書館は、県立図書館と高知市民図書館とが役割分担しながら、子どもたちの学びを支えるため、学校からのレファレンス(調べもの)に対して支援を行います。

【県立図書館】

④ パスファインダーやブックリストの作成・提供

オーテピア高知図書館は、学校図書館の資料選定に役立つパスファインダーやブックリストを作成し、提供します。

【県立図書館】

⑤ 学校図書館の要望に応じたまとめ貸し

オーテピア高知図書館では、県立図書館と高知市民図書館とが役割分担しながら、要望するテーマに応じた資料のまとめ貸しを学校図書館に対して行います。

【県立図書館】

⑥ 学校図書館の運営・サービス等への訪問支援

オーテピア高知図書館は、学校図書館の要望に応じて、市町村立図書館職員等とともに依頼訪問を行い、運営やサービスの充実に向けた相談等の支援を行います。

【県立図書館】

⑦教科研究センターにおける情報提供

教科研究センターは、学校図書館活動に関する先進的な取組や授業実践例の情報収集及び提供・広報を行います。

【教育委員会全課】

(2)情報を読み取り探究型の学習につながる読書活動の推進

(小・中・義務教育学校における取組)

小・中・義務教育学校においては、市町村教育委員会と連携して、学校の教育活動全体を通して児童生徒が読書に親しみ、読書習慣を身に付けることができるよう、各小・中・義務教育学校の学校経営計画や教育計画に読書活動を位置づけて取り組むとともに、探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業(学校図書館活用型)指定校(以下「指定校」という。)における実践研究を進め、その研究成果を広く普及します。

(高等学校における取組)

高等学校においては、生徒の豊かな人間性や社会性を育て、社会の担い手としての資質を身に付けられるように、読書活動を通して、生徒の個性を伸ばし、主体的に社会の中で生きていく力を育てます。

そのために、小・中・義務教育学校における教育の成果を受け継ぎ、読書活動の充実に向けた取組や環境整備を一層進め、生徒の自主的な読書活動の促進を図るとともに、生涯にわたって読書に親しむ習慣を育てます。

また、多感な時期の悩みに応えたり、興味・関心のある本と出会えたりするよう生徒への情報提供を進めるとともに、専門性や幅広い視野を身に付けるために、キャリア教育に位置づけた読書活動を推進します。

(主な具体的な取組)

①小・中・義務教育学校における学校図書館の組織的、計画的な活用の推進

市町村教育委員会と連携して、各小・中・義務教育学校の学校経営計画や教育計画に読書活動を位置づけ、各教科、総合的な学習の時間等、教育活動全体において学校図書館の組織的、計画的な活用を図ることにより読書習慣の形成を促進します。また、調べ学習等の探究的な学習等により、考える力や表現力を育成します。

・探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業(学校図書館活用型)

【小中学校課】

②研究指定校における研究の推進と成果の普及

授業での学校図書館の活用方法、新聞を活用した学習活動、読書活動の促進方策や学校図書館担当者の在り方を中心に各指定校における実践研究をまとめ、ホームページ上に公開したりデータ化したりすることにより、学校へ普及啓発を行います。

■ 探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業(学校図書館活用型)

【小中学校課】

③発展的な学習の推進

児童生徒の考える力や表現力等の向上を図るために、「高知県わくドキ！ショートコメントコンテスト」や「学校新聞づくりコンクール」等の図書館資料や新聞を活用する取組を推進します。

また、指定校での取組を中心に「高知県学校図書館活動ガイドブック」「高知県学校図書館活動実践事例集」及び「きつとある キミの心に ひびく本」の活用を促し、県内への普及を行います。さらに、各教科等の学習と読書が密接に関連づけられるよう、図書館資料をもとに発展的な学習に広がる取組を推進します。

重・探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業(学校図書館活用型)

【小中学校課】

④高等学校における学校図書館の組織的、計画的な活用の推進

各校の学校経営計画や教育計画に「読書活動の推進」に関する項目を取り入れ、読書活動の重要性について学校全体での共有化を推進するとともに、読書活動推進に向けた組織的な活動がより活性化されるよう取り組みます。

また、各教科・科目、特別活動及び総合的な学習の時間、キャリア教育等、学校の教育活動全体において、学校図書館を探究的な学習の場として積極的・計画的に活用し、各担当者の一層の連携のもと多様な指導の展開が図られるよう、必要な支援を行います。

重・高等学校学校図書館教育推進事業

【高等学校課】(再掲)

⑤生徒の自主的な読書活動の推進

朝の読書活動等の一斉読書活動を一層推進するとともに、調べ学習等を通して、生徒の主体的、探究的な学習や読書活動につながるよう取組を推進します。

また、図書委員会活動やボランティア活動等の生徒の自主的な取組がより一層創意工夫したものとなるよう支援します。

・高等学校学校図書館教育推進事業

【高等学校課】(再掲)

⑥学校図書館の情報発信の推進

図書館便りを発行したり、学校図書館協議会等の外部団体の協力を得たりするなど、読書活動に関する情報発信の充実に継続して取り組みます。

また、興味・関心や必要とする専門性に応じた資料の提供、多感な時期の悩みへの支援等、生徒の多様な要望に応えられるよう、学校図書館担当職員による情報提供を促進します。

・高等学校学校図書館教育推進事業

【高等学校課】(再掲)

⑦調べ学習に役立つ資料の収集・提供

オーテピア高知図書館は、子どもたちの疑問や好奇心に応え、調べ学習に役立つ図書を収集し、提供することによって、学校図書館、市町村立図書館等の蔵書では足りない部分を補います。

【県立図書館】

4 オーテピア高知図書館による読書環境の充実・強化

(1)子どもの多様なニーズに対応する図書館サービスの充実

オーテピア高知図書館は、子どもたちの読書習慣の定着や読書環境・情報環境等の一層の充実・活性化を図るため、関係機関と協力・連携しながら、サービスの充実・強化に取り組みます。

また、子どもに小さいころから読書に親しむ習慣を身に付けてもらうため、乳幼児期から本に触れる機会の提供や読書の魅力を発信する人材育成などを行います。また、市町村立図書館等への協力貸出や市町村職員等を対象とした研修を実施することなどにより、市町村立図書館等に対する支援を行います。

(主な具体的な取組)

①レファレンスの充実

オーテピア高知図書館では、児童・青少年の調べ学習や日常の疑問に応えるレファレンス・サービスの充実を図ります。

【県立図書館】

②児童・青少年向け図書等の資料の充実

オーテピア高知図書館では、しかけ絵本や特大絵本など子どもたちの興味や好奇心を引く絵本、外国語や語学の図書、デジタル資料や新聞等の多様な資料を収集し、提供します。

また、大活字本、LLブック、朗読CD、カセットブック、音声ガイド、字幕付きDVD、さわる絵本、布絵本、さらに、文字情報が苦手な子どもにマンガで情報を伝えられる資料も収集し、提供します。

【県立図書館】

③電子書籍の導入

読み上げ機能の活用や来館が困難な方への利便性を向上させるため、メリットやデメリットを見極めながら電子書籍を導入します。

【県立図書館】(再掲)

④調べ学習に役立つ資料の収集・提供

子どもたちの疑問や好奇心に応え、調べ学習に役立つ図書を収集し、提供することによって、学校図書館、市町村立図書館等の蔵書では足りない部分を補います。

【県立図書館】(再掲)

⑤ティーンズ・サービスの実施

10代の若者(ティーンズ)の興味・関心に応える図書、学習内容を深めることのできる資料等を収集し、提供します。

【県立図書館】(再掲)

⑥物流便による資料の配送

休館日を除き、毎日、協力貸出や相互貸借の資料を市町村に発送します。

【県立図書館】

⑦子どもと本をつなぐイベントの実施

小さいころから子どもが本に親しみ、また、保護者も子どもの読書に関心を持つように、読み聞かせやストーリーテリングなどを定期的に行います。

【県立図書館】(再掲)

⑧読書の楽しさを知るイベントの実施

ティーンズを対象に、ビブリオバトルやブックトーク等の読書の楽しさを知るイベントを行います。その際、ティーンズの参加を促すため、イベントの企画委員の募集等を工夫しながら行います。

【県立図書館】(再掲)

⑨読み聞かせ研修会や講座の実施

保護者や市町村立図書館職員、ボランティアなどを対象とした読み聞かせ研修会や講習会を実施します。

【県立図書館】

⑩上映会・体験会の開催

字幕付き映画、手話付き映画、音声解説付き映画、マルチメディアデイジー、音声付き電子書籍等の上映会・体験会を企画します。

【県立図書館】(再掲)

⑪ブックリストの作成・提供

ティーンズを対象に、将来を考えるものや関心を広げるものから、学習に対応したものまで各種のブックリストを作成し、提供します。

【県立図書館】(再掲)

⑫録音図書の提供(デイジー等)

高知声と点字の図書館やサピエ図書館が提供する利用制限付き録音図書等を図書館で、対象者に貸出できるようにします。

録音図書の周知のため、関連団体へのサンプルの貸出についても検討します。

【県立図書館】(再掲)

⑬対面音訳サービスの実施

オーテピア高知図書館では、対面音訳室を3室整備し、複数のニーズに応えられるようにします。また、市町村立図書館等でも対面音訳サービスが実施できるよう支援します。

【県立図書館】(再掲)

⑭貸出サービスの充実

来館が困難な子どもが資料を利用できるように、病院・社会福祉施設等への資料の団体貸出を行います。また、障害や病気により来館が困難な子どもには、無償で自宅等に資料を届けます。

【県立図書館】(再掲)

⑮ボランティアや協力者の養成・スキルアップ講習会等の実施

高知声と点字の図書館と連携し、リクエストに応じて点訳や音訳、「テキスト・データ」化等の変換ができるようボランティアや協力者の養成、スキルアップ講習会等を実施します。

【県立図書館】(再掲)

(2)市町村立図書館等への支援

市町村立図書館等は、子どもが気軽に本と出会い、読書の楽しさを味わうことのできる地域に密着した施設です。

オーテピア高知図書館は、市町村立図書館等が地域の中核的施設として、子どもが本に親しみ、生涯にわたる読書習慣を身に付けることができるよう、市町村立図書館等と連携しながら、読書活動の推進のために環境の整備、機能の充実を支援していきます。また、市町村立図書館等が行う地域の民間団体や読書ボランティア等との連携による子どもの読書活動の取組に対しても支援を行います。

(主な具体的な取組)

①児童書の全点購入による選書支援

市町村立図書館や学校等が本の選定の際に、参考にできるよう、出版される児童書を全て購入し、展示します。また、県内での巡回展示も実施します。

【県立図書館】

②調査研究に必要な資料の提供

市町村立図書館等職員をはじめとする読書活動推進に携わる人が調査研究できる図書等を提供します。

【県立図書館】

③市町村のニーズに応える資料の収集・提供

市町村立図書館等に対する協力貸出用の資料を収集し、提供します。

【県立図書館】

④巡回訪問や依頼訪問等による支援

県の東部、中央、西部の各ブロックの担当司書を配置し、市町村立図書館等への巡回訪問や依頼訪問等により、運営やサービスの充実に向けた相談等の支援を行います。

【県立図書館】

⑤協力貸出、レファレンス・サービスへの協力支援

市町村立図書館等から地域の学校等へ団体貸出できるよう、学校図書館自身、市町村立図書館自身の蔵書の充実を促すとともに、児童図書をまとめて貸し出す長期一括貸出等を行います。また、市町村立図書館等の図書館資料では十分な調査・回答が困難なレファレンス・サービスへの協力や助言を行います。

【県立図書館】

⑥児童書に関する情報収集と提供

子どもに対するサービスの取組等、様々な情報を収集するとともに、市町村立図書館等へ児童書選定の参考になる情報を発信します。

【県立図書館】

⑦企画展示の実施

市町村立図書館等における企画展示の実施を支援するため、資料やブックリストなどを一括して貸出・提供します。

【県立図書館】

⑧相互貸借の活性化

図書館の間で、資料の貸出を行う相互貸借を活性化するため、図書館情報システム未導入の市町村立図書館等の所蔵情報を収集し、県内図書館横断システムで所蔵状況を検索できるようにします。

【県立図書館】

⑨物流便による資料の配送

休館日を除き、毎日、協力貸出や相互貸借の資料を市町村に配送します。

【県立図書館】(再掲)

⑩アウトリーチ・サービスの実施

県内の図書館やボランティア等と連携し、読み聞かせや本の紹介等を行う出前図書館や講座を実施します。出前図書館等を通じて、市町村立図書館職員等とともに積極的に図書館の活用に向けた「提案」やサービスの「周知」を行います。

【県立図書館】

⑪市町村立図書館の職員等に対する研修会の実施

市町村立図書館の職員等に対して、高知県図書館職員研修や個別テーマに応じた研修等を実施し、人材の育成を図ります。

【県立図書館】

⑫児童サービス研修会等の実施

市町村立図書館等の司書やその他のスタッフ向けの研修会を実施し、ボランティアや協力者等に対して、読書活動の指導や研修会等の講師ができる人材を養成します。また、ボランティアや学校関係者への講座や研修を教育委員会の学校担当関係部局と連携・協力することにより実施し、人材の育成に努めます。

【県立図書館】

⑬図書館活用講座の実施

図書館の本の探し方・調べ方を学び、情報リテラシー(情報の収集・整理・評価・活用の方法・知識)を向上させる講座を実施します。

【県立図書館】

⑭広報誌への掲載等

市町村立図書館等を通じて受けられる図書館サービス(市町村立図書館等への協力貸出等)の情報を市町村の発行する広報誌に掲載するなど、周知を図ります。

【県立図書館】

(3)学校図書館との連携・協力

オーテピア高知図書館では、市民図書館と県立図書館が役割分担し、県立学校等へのサービスは、県立図書館が学校図書館と連携しながら担い、子どもたちの学びを支えるとともに、図書館の運営やサービスの充実に向けた支援を行います。

高知市以外の市町村立学校は、各市町村立図書館等と県立図書館が連携・協力して支援します。また、高知県立図書館は、県内市町村立図書館等が市町村立学校を効果的に支援できるよう、技術的な助言、資料の選定への助言等を行います。

(主な具体的な取組)

①市町村立図書館等へのまとめ貸し

市町村立図書館等が当該の市町村立学校に図書を貸し出す際に必要な本を市町村立図書館等に貸出します。

【県立図書館】

②訪問支援・研修

市町村立図書館等の職員と一緒に訪問を行い、運営やサービスの充実に向けた相談等の支援を行います。また、市町村立図書館等の職員やスタッフが、市町村立の学校図書館にアドバイスができるように県立図書館職員等による研修を行います。

【県立図書館】

③パスファインダーやブックリストの作成・提供

市町村立学校図書館等が児童・生徒に対して、適切に指導できるようにパスファインダーやブックリストを作成し、提供します。また、その作成方法についての研修を行ったり、範例となるものを提供したりします。

【県立図書館】

5 子どもの読書活動を推進する人材の育成

子どもの読書活動を推進するために、読書活動に携わる市町村立図書館等の専門職員の資質向上に取り組むとともに、子どもと本を結びつける人材の育成及び組織化を図ります。また、学校等へは、読書活動の取組に関する先進的な情報を機会あるごとに紹介するとともに、読書活動の意義や重要性、学習活動との関わり等に関する研修の場を設け、学校図書館担当者等に働きかけます。

(主な具体的な取組)

①読書ボランティアの養成

地域や保育所・幼稚園、学校等で読み聞かせ等を行う読書ボランティアの育成、資質向上を図るために、研修や情報交換会を実施するとともに、市町村における読書ボランティアの養成を促します。

また、読書ボランティア活動調査を隔年で行い、活動状況を把握するとともに、読書ボランティアの組織化を支援することにより、活動の活性化を図ります。

重・読書ボランティア養成講座

【生涯学習課】

②読書ボランティアリーダーの養成と組織化

読書ボランティアとして活動されている方々の資質向上を図るため、より専門的な研修を実施し、読書ボランティアの核となる人材を育てるとともに、県内読書ボランティアグループの組織化を図ります。

また、読書ボランティアグループが学校支援地域本部等の活動へ関わる仕組みづくりを進め学校と連携しながら地域全体で子どもたちを見守り育てる活動への参加を支援します。

重・読書ボランティア機能強化事業

【生涯学習課】

③子ども司書養成講座の実施

小・中学校における読書活動を活性化するために、子ども司書養成講座を開催し、学校図書館の環境整備や読書に関する広報・啓発に取り組む子どもの読書活動推進リーダーを育成します。

また、子ども司書と図書館司書等のつながりを強め、市町村や学校での読書環境の強化を図ります。

【重】子ども司書養成事業

【生涯学習課】

④読み聞かせ研修会や講座の実施

オーテピア高知図書館では、保護者やボランティアなどを対象とした読み聞かせ研修会や講習会を実施します。

【県立図書館】(再掲)

⑤市町村立図書館の職員等に対する研修会の実施

オーテピア高知図書館は、市町村立図書館の職員等に対して、高知県図書館職員研修や個別テーマに応じた研修等を実施し、人材の育成を図ります。

【県立図書館】(再掲)

⑥児童サービス研修会等の実施

オーテピア高知図書館は、市町村立図書館等の司書やその他のスタッフ向けの研修会を実施し、ボランティアや協力者等に対して読書活動の指導や研修会等の講師ができる人材を養成します。また、ボランティアや学校関係者への講座や研修を教育委員会の学校担当関係部局と連携・協力することにより実施し、人材の育成に努めます。

【県立図書館】(再掲)

⑦図書館活用講座の実施

オーテピア高知図書館は、図書館の本の探し方・調べ方を学び情報リテラシー(情報の収集・整理・評価・活用の方法・知識)を向上させる講座を実施します。

【県立図書館】(再掲)

⑧調査研究に必要な資料の提供

オーテピア高知図書館は、市町村立図書館等職員をはじめとする読書活動推進に携わる人が調査研究できる図書等を提供します。

【県立図書館】(再掲)

⑨教職員等の学校図書館活用力の向上

学校図書館協議会・大学等と連携した研修会の実施を通して、学校図書館担当者等の資質向上に取り組みます。また、オーテピア高知図書館では、県立学校の教職員からの学校図書館の活用に関する相談やレファレンス(調べもの)などへの支援を行ったり、学校図書館の資料選定に役立つ情報や資料を提供します。

県教育センターでは、幼保研修において、絵本の果たす役割や読み聞かせの技術等について講義・演習を実施するとともに、若年教員研修において、学校図書館の機能を説明し、活用を推進します。

【高等学校課・県立図書館・教育センター】

(参考)

【第三次計画における具体的な取組一覧】

基本目標	取組方針	具体的な取組	取 組	担当課	区分 (○:継続)	再掲 事業
【基本目標1】 自主的に読書活動に取り組む子どもを育てる	取組方針1 発達段階に応じた読書活動の推進	(1)乳幼児期における取組	・乳幼児健診等における本と出会う場づくりの普及・促進(ブックスタート応援事業)	生涯	○	
			重・子ども読み聞かせ運動(読育運動)の実施(子ども読み聞かせ運動)	生涯	新規	
			・保育者への園内研修等の充実(園内研修支援事業)	幼保	○	
			・保育所・幼稚園等における読書活動調査の実施	幼保	○	
			・子どもと本をつなぐイベントの実施	県図	○	
		・児童図書等の資料の充実	県図	拡充		
		(2)学童期から青年中期における取組	・早ね早おき朝ごはん県民運動における読書活動の推進(早ね早おき朝ごはん県民運動)	健康長寿・生涯	○	
			・多様な読書の推進(推薦図書リスト「きつとある キミの心に ひびく本」の配付)	小中	○	
			重・読書楽力検定の利用と活用の推進(読書楽力検定事業)	生涯	新規	
			重・学校図書館の組織的、計画的な活用の推進(高等学校学校図書館教育推進事業)	高等	○	
			・生徒の自主的な読書活動の推進(高等学校学校図書館教育推進事業)	高等	○	
			・学校図書館の情報発信の推進(高等学校学校図書館教育推進事業)	高等	○	
			・図書資料の充実	県図	○	
			・ティーンズ・サービスの実施	県図	拡充	
			・読書の楽しさを知るイベントの実施	県図	新規	
	・ブックリストの作成・提供	県図	新規			
	(3)特別な支援が必要な子どもための取組	・特別支援学校における読書活動の充実(特別支援学校読書活動推進事業)	特支	○		
		・特別支援学校における障害に配慮した読書環境の整備・充実	特支	○		
		・多様な図書資料の充実	県図	拡充		
		・貸出サービスの充実	県図	拡充		
		・上映会・体験会等の開催	県図	拡充		
		・対面音訳サービスの実施	県図	拡充		
		・録音図書の提供(デージー等)	県図	新規		
		・電子書籍の導入	県図	新規		
	(4)子どもの読書活動の意義や大切さを伝える総合的な取組	・市町村による子ども読書活動推進計画策定への支援	生涯	○		
		・「子ども読書の日」(4月23日)等の啓発	生涯	○		
		・文部科学大臣表彰による優れた取組の奨励、普及、啓発	小中・高等・特支・生涯	○		
	取組方針2 地域や人とのつながりを深める読書活動の推進	・読書活動を通じた異年齢交流の促進	幼保・小中・高等・生涯	新規		
・学校支援地域本部等の仕組みを活用した読書活動の推進(学校支援地域本部等事業)		生涯	新規			
重・NPOと連携した読書環境の改善(出張図書館事業)		生涯	新規			
・地域の教育関連施設と連携した読書活動の推進		生涯	新規			

基本目標	取組方針	具体的な取組	取組	担当課	区分 (○:継続)	再掲 事業	
【基本目標2】 情報を読み取り活用する子どもを育てる	取組方針3 学校教育における読書活動の推進	(1) 学校図書館の機能の充実	・学校図書館図書標準達成校数の拡大	小中	○		
			・データベース化の推進	小中	○		
			・レファレンスの協力	県図	拡充		
			・パスファインダーやブックリストの作成・提供	県図	新規		
			・学校図書館の要望に応じたまとめ貸し	県図	拡充		
			・学校図書館の運営・サービス等への訪問支援	県図	拡充		
			・教科研究センターにおける情報提供	全課	○		
		(2) 情報を読み取り探究型の学習につなげる読書活動の推進	重 ・小・中・義務教育学校における学校図書館の組織的・計画的な活用の推進(探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業(学校図書館活用型))	小中	○		
			重 ・研究指定校における研究の推進と成果の普及(探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業(学校図書館活用型))	小中	拡充		
			重 ・発展的な学習の推進(探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業(学校図書館活用型))	小中	○		
	【基本目標2】 あらゆる機会とあらゆる場所において読書ができる環境をつくる	取組方針4 オーテピア高知図書館による読書環境の充実・強化	(1) 子どもの多様なニーズに対応する図書館サービスの充実	・レファレンスの充実	県図	○	
				・児童、青少年向け図書等の資料の充実	県図	拡充	
				・電子書籍の導入	県図	新規	●
				・調べ学習に役立つ資料の収集・提供	県図	拡充	●
				・ティーンズ・サービスの実施	県図	拡充	●
				・物流便による資料の配送	県図	拡充	
				・子どもと本とをつなぐイベントの実施	県図	○	●
				・読書の楽しさを知るイベントの実施	県図	新規	●
				・読み聞かせ研究会や講座の実施	県図	○	
				・上映会・体験会の開催	県図	拡充	●
取組方針5 子どもの読書活動を推進する人材の育成	(2) 市町村図書館等への支援	・ブックリストの作成・提供	県図	新規	●		
		・録音図書の提供(デージー等)	県図	新規	●		
		・対面音訳サービスの実施	県図	拡充	●		
		・貸出サービスの充実	県図	拡充	●		
		・ボランティアや協力者の養成・スキルアップ講習会などの実施	県図	新規	●		
		・児童書の全点購入による選書支援	県図	新規			
		・調査研究に必要な資料の提供	県図	○			
		・市町村のニーズに応える資料の収集・提供	県図	拡充			
		・巡回訪問や依頼訪問等による支援	県図	拡充			
		・協力貸出、レファレンス・サービスへの協力支援	県図	拡充			
取組方針5 子どもの読書活動を推進する人材の育成	(3) 学校図書館との連携・協力	・児童書に関する情報収集と提供	県図	拡充			
		・企画展示の実施	県図	拡充			
		・相互貸借の活性化	県図	新規			
		・物流便による資料の配送	県図	拡充	●		
		・アウトリーチ・サービスの実施	県図	新規			
		・市町村立図書館の職員等に対する研修会の実施	県図	拡充			
		・児童サービス研修会等の実施	県図	拡充			
		・図書館活用講座の実施	県図	新規			
		・広報誌への掲載等	県図	新規			
		取組方針5 子どもの読書活動を推進する人材の育成	(3) 学校図書館との連携・協力	・市町村立図書館等へのまとめ貸し	県図	拡充	
・訪問支援・研修	県図			拡充			
・パスファインダーやブックリストの作成・提供	県図			新規			
重 ・読書ボランティアの養成(読書ボランティア養成講座)	生涯			○			
重 ・読書ボランティアリーダー養成と組織化(読書ボランティア機能強化事業)	生涯			新規			
重 ・子ども司書養成講座の実施(子ども司書養成事業)	生涯			新規			
・読み聞かせ研究会や講座の実施	県図			○	●		
・市町村立図書館の職員等に対する研修会の実施	県図			拡充	●		
・児童サービス研修会等の実施	県図			拡充	●		
・図書館活用講座の実施	県図			新規	●		
取組方針5 子どもの読書活動を推進する人材の育成	(3) 学校図書館との連携・協力	・調査研究に必要な資料の提供	県図	○	●		
		・教職員等の学校図書館活用力の向上	高等・県図 教育センター	○			

(参考)

【子どもの成長・発達段階に応じた読書活動の主な取組】

発達段階		乳幼児期	学童期 (小学校)	青年前期 (中学校)	青年中期 (高等学校)
		・人への信頼感 ・基本的な生活習慣の形成 ・自立心の芽生え	・社会性の基礎の形成 ・自己肯定感の育成 ・自主性、自発性の形成	・自立心の獲得 ・論理的思考、情報処理能力	・生きる力の確立 ・創造力、思考力等の総合力
推進の場	役割	身に付ける力			
		【家庭】		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者による絵本の読み聞かせの大切さを啓発する。 ・子どもが身近な大人を通して本と出会うための取組を実施する。 ・保護者も一緒になって読書に親しむことを促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動が生活の中に定着していくように働きかける。
【地域】					
図書館等	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な学習や生活を支援する施設であると同時に、「知」の拠点、情報の拠点として地域の発展に寄与する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館が連携・協力し、読書環境の充実を図る。 ・子どもが本に親しみ、また、保護者も子どもの読書に関心を持つように、子どもと本とをつなぐイベントを定期的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来を考えるものや関心を広げるもの、学習に対応したものなど各種のブックリストを作成し、提供する。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ※子ども読み聞かせ運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・10代の子どもの興味・関心に応える本や学習内容を深めることのできる本等を収集し、提供する。 ・読書の楽しさを知るイベントを実施する。 ・レファレンスサービスや情報提供の充実を図る。 ※出張図書館事業 ※子ども司書養成講座 		
ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ等の活動を通じて、子どもが本に出会う様々な機会を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診や図書館等、保育所・幼稚園等で読み聞かせやおはなし会等が実施できるよう働きかける。 ※子ども読み聞かせ運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ等の読書活動を通じて、学校と連携しながら、地域全体で子どもたちを見守り育てる活動へ参加する。 		
教育関連施設等	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動に関連したイベント等を開催することを通して、本と読書への興味や子どもと地域のつながりを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や民間団体等と連携・協働し、読書に関わる企画展やイベント等、子どもが本に出会う様々な機会を提供する。 ※読書楽力検定事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や学校で読み聞かせを行う読書ボランティアの育成、資質向上を図る。 ・読書ボランティアの核となる人材を育てるとともに、読書ボランティアグループの組織化を図る。 ※読書ボランティア養成講座 ※読書ボランティア機能強化事業 		
【学校等】					
保育所 幼稚園等	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ等、本に親しむ機会を提供し、子どもが読書を楽しむ習慣を形成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・推薦図書を活用し、「読み聞かせ」等を行う。 ・発達や興味・関心に応じた絵本等や絵本コーナーの充実に努める。 ・読書活動の意義や重要性について研修を深め、保護者への啓発を行う。 ※子ども読み聞かせ運動 			
学校	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの自主的な読書活動の促進を図る。 ・生涯にわたって読書に親しむ習慣を育む。 ・学習に対する興味や関心を呼び起こし、自主的・主体的な学びを支援する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・多様な種類の読み物に親しめるよう推薦図書リストを配付する。 ・学校図書館の図書館資料の計画的な整備や魅力ある蔵書整備の推進を支援する。 ・蔵書情報のデータベース化等、環境整備を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉読書活動等を推進する。 ・図書委員会活動等の自主的な取組を支援する。 ・学校図書館担当職員による情報提供を促進する。 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営計画や教育計画に読書活動を位置づけ、各教科、総合的な学習の時間等、教育活動全体において、学校図書館の組織的、計画的な活用を図ることにより、読書習慣の形成を促進する。 ・調べ学習等の探究的な学習により、考える力や表現力を育成する。 ※探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業(学校図書館活用型) ※子ども司書養成事業 ※高等学校学校図書館教育推進事業 		

(※**重**): 重点的な取組)

6 計画の指標及び成果目標

計画期間における計画内容の進捗状況を把握し、施策の効果等を検証・評価するために、次のとおり、18の指標及び成果目標を設定します。

取組方針	指標		H26	H27	H28	H33 目標値	
1	①	読み聞かせ運動に参加している保育所・幼稚園等の割合 (%)	幼保	—	—	—	75.0※
	②	保護者・図書館・ボランティア等の連携の実施率 (%)	幼保	81.9	87.7		95.0
	③	読書が好き・どちらかといえば好きな割合 (%) 〔全国学力・学習状況調査〕	小	78.6 《73.0》	78.8 《72.8》	78.4 《74.6》	80.0
			中	72.2 《69.4》	71.2 《67.9》	73.8 《69.9》	80.0
	④	家や図書館で普段(月～金)の読書時間が10分以上の割合 (%) 〔全国学力・学習状況調査〕	小	67.5 《64.7》	68.1 《64.2》	65.6 《63.5》	75.0
			中	58.2 《53.0》	57.9 《52.2》	54.0 《49.7》	70.0
	⑤	家や図書館で普段(月～金)に全く読書をしない割合 (%) 〔全国学力・学習状況調査〕 〔学習状況アンケート・県教育委員会〕	小	16.1 《19.3》	16.3 《19.9》	17.4 《20.6》	8.0※
			中	28.2 《34.3》	29.2 《35.0》	31.9 《37.2》	15.0※
高			—	—	—	25.0※	
⑥	昼休、放課後、休日に学校図書館や地域図書館を利用する割合 (%) 〔全国学力・学習状況調査〕	小	68.0 《70.7》	68.5 《69.1》	66.3 《68.7》	70.0	
		中	43.7 《41.7》	46.3 《42.7》	44.4 《41.7》	50.0	
⑦	特別支援学校で読書週間を設定している割合 (%) 〔県教委調査〕	特支	62.5	62.5	62.5	75.0	
⑧	学期に1回は、図書・視聴覚便りを発行している割合 (%) 〔県教委調査〕	特支	50.0	62.5	75.0	87.5	
2	⑨	公共図書館との連携・交流をしている割合 (%) 〔学校図書館の現状に関する調査〕	小	82.5 《79.9》	82.3 《82.2》	—	90.0
			中	56.1 《52.4》	56.7 《57.5》	—	60.0
			高	52.9 《47.7》	55.9 《51.1》	—	60.0
			特支	62.5 《29.6》	— 《36.6》	50.0 《—》	75.0
⑩	読書ボランティア活用率 (%) 〔学校図書館の現状に関する調査〕	小	70.1 《81.1》	73.4 《81.4》	—	80.0	
		中	27.1 《28.1》	31.7 《30.0》	—	35.0	
3	⑪	学校図書館を活用した授業の計画的実施率 (%) (月に数回程度以上実施) 〔全国学力・学習状況調査〕	小	50.2 《47.6》	49.2 《43.1》	—	55.0
			中	11.9 《10.4》	14.7 《11.7》	—	20.0
	⑫	普通の授業で、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよくやっている児童・生徒の割合 (%) 〔全国学力・学習状況調査〕	小	71.8 《77.3》	84.4 《90.8》	89.0 《91.9》	95.0
			中	55.6 《46.5》	69.7 《78.0》	76.1 《82.2》	85.0
	⑬	学校図書館図書標準の達成率 (%) 〔学校図書館の現状に関する調査〕	小	—	59.4 《66.4》	—	65.0
			中	—	38.5 《55.3》	—	45.0
⑭	学校司書(学校図書館担当職員)の配置率 (%) 〔学校図書館の現状に関する調査〕	小	60.2 ◆11月時点 《54.5》	59.2 ◆11月時点 《—》	55.2 ◆11月時点 《59.3》	全国平均※	
		中	56.7 ◆11月時点 《52.8》	55.3 ◆11月時点 《—》	52.5 ◆11月時点 《57.3》		
		高	100.0 《66.5》	100.0 《—》	100.0 《66.9》	100%維持	
4	⑮	児童レファレンス件数(件)		1,925	2,059		5,100
	⑯	協力貸出冊数(冊)〔含児童書〕		26,556	26,345		32,000※
5	⑰	「子ども司書」認定者数(人)		—	—	67 (5市町)	毎年度 100名※
	⑱	読書ボランティアリーダーの養成		—	—	—	60名以上※

取組方針1:発達段階に応じた読書活動の推進

《 》数値:全国値

※:新指標

取組方針2:地域や人とのつながりを深める読書活動の推進

取組方針3:学校教育における読書活動の推進

取組方針4:オーテピア高知図書館による読書環境の充実・強化

取組方針5:子どもの読書活動を推進する人材の育成